

日時：2002年11月8日（夜の練習後）

場所：とんかつ和幸（聖路加ガーデン）

参加者：大竹惟司、大竹ひろ子、内田研吾、内田恵美子、川津泰人、大西信一、大西礼子

〔総括〕

- ① 今年のレクイエム奉唱参加者は81名。今回、練習時に参加者に依頼し、所属を記入した参加者名簿を作成した。
- ② 今年はハモンドオルガンを使用した。参加者や参列者に好評だったようである。但し、そのために、病院の備品貸与（モニター）、隊員の私物貸与（ビデオ装置、三脚）、病院営繕による作業（モニターを置く台の作成）など、例年以上に手がかかった。関係者に感謝する。
- ③ 今年は参加者が多かったため、病院営繕に特製の壇を作成してもらったが、これ以上の参加者は、チャペルの許容人員からすると、無理だと思われる。

④ 来年のレクイエム奉唱参加者の募り方、新たな取組み（決定事項）

- ・ 今年および昨年の参加者に往復葉書で案内を出し、出欠を返信してもらう。
- ・ 案内の葉書には、参加条件として、「ゲネプロに出席可能なこと」、「7回の練習中4回は出席可能なこと」、「楽譜は〇社の〇版（どれを使うかは今後聖歌隊で検討する）に統一するので、各自用意すること」を明記する。また、友人を新規に誘って参加することは遠慮願う旨（文面は今後熟慮する）を書き添える。
- ・ 往復葉書代は聖歌隊の隊費から拠出する。
- ・ 返信葉書をもとに、参加者リストを作り、毎回、練習の出欠を取る。
- ・ 参加者には毎回名札をつけてもらい、初回には自己紹介の時間を作る。
- ・ 記念写真は、希望者のみに、実費をもらった上、郵送することにする。

〔来年のレクイエムに関する意見交換〕

- ・ チャペル行事なので、チャペル関係者の積極的な参加を求めたい。（すでにチャペル委員のかたには、毎年受付や案内役をしていただいているが）
- ・ 参加者との懇親会を、レクイエム終了後、ロビーで行ないたい。
- ・ 隊員のみ参加の、例年の打ち上げはやらないのか。
- ・ 参加者との懇親会をする場合、どの程度の規模とするのか。参加者から会費を取るのか。取るなら、それなりの料理（ケータリングなどを利用して）が必要ではないか。
- ・ 参加者から会費は取らずに、隊員が準備した飲み物とお菓子位でいいのではないか。
- ・ 飲み物とお菓子では、時間的にも貧相ではないか。隊員が準備をするのは、負担が大きい。
- ・ 来年は日曜日なので、例年の開始時間7時というのを、早められないか。チャペルに相談してみてもどうか。
- ・ 6時開演になれば、懇親会も打ち上げも両方やれるかもしれない。
- ・ 隊費5千円のうちのほとんどを打ち上げの費用に使っている現状はおかしいのではないか。
- ・ ……時間切れとなり、来年にむけて今後も検討を続けることで、反省会を終了した。